

## 令和4年度 項目別記述アンケート内容と回答

○・・・よくあてはまる・だいたいあてはまる回答の理由

▲・・・あまりあてはまらない・まったくあてはまらない・よくわからない回答の理由

1の項目：学校は教育目標や方針をわかりやすく説明している。

- 学校の色々な場所にスローガンを掲げているから
- お手紙や対面の機会に説明いただいている
- 書面で見るとはわかりやすい
- 学校経営方針をまとめ、配布しているから。また、説明会や保護者会等でもわかりやすい説明があるから。
- 学校だより個人面談からわかります
- 保護者会や配付資料に示されているから。
- 入学時にきちんと説明していただいた。
- ときどき学校だよりで見るとはわかります。
- お便りでわかる
- 分かりやすく先生が説明してくれるため。
- 学年だより、六日小だよりに記載していただいています。先生方の熱意が伝わってきています。
- クラスで目標を掲げている
- 六日しぐさの冊子をもらってる
- 文書をいただいている
- 3名人
- 文書で配布してくれている
- 毎月学校だよりを配信していただいているので
- 3名人などに力を入れている
- スクリーンや便りが頻繁に有る。
- お便りなどでお知らせがある
- 学校便りなどの発信もあり、また3名人とわかりやすく目標がまとまっているため。
- 保護者会の際に担任の先生が話してくれる中に織り込まれている
- 六日小しぐさなどあるのでわかりやすいです
- 六日しぐさがあり、文字になっていて明確である。
- 学校便りなどで、わかりやすく説明がある。
- 具体的な目標を提示している

▲教育目標を知りません

←入学時にもお示ししています。また、毎年度お伝えしている学校経営方針には、教育目

標を分かりやすく示しています。一部ではなく学校教育の全体が分かるようにしています。ぜひ一読ください。

▲スクリレが見ないので分からない

←ご意見ありがとうございます。学校としては、スクリレのよさを生かして学校の様子や情報を迅速かつ確実にお届けするために導入しました。工夫して内容は作成しているつもりですが、ご意見要望はいつでもお待ちしておりますので積極的にご連絡ください。

▲説明はされていると思いますが、達成までのプロセスについては目標との乖離を感じます。極端なことを言うと、3名人になれば目標達成するのか、ということそれだけではないと思うので。

←達成までのプロセスは一部の取組だけで判断するのではなく、それぞれの活動はどのような力を育てていくのかを意識して学校・家庭・地域で取り組むことが大事です。3名人の取組も一つの取組でありこれがすべてではないのです。ご理解いただきご家庭でできることから実践してみてください。

2の項目：児童は、明るく素直で、生き生きとした学校生活を過ごしている。

- 学校を嫌がることなく楽しく通学しているからです
- 学校へ行くと、明るく元気
- 毎日楽しく通っているため。
- 自分の子どもとまわりの友だちを見る限りは概ね
- 子供の様子だったり、学校に行った際の児童の生徒を見たりして感じました
- 元気に楽しそうに学校に通っている子が多い気がするから。
- いやがらず、毎日前向きに登校している
- 楽しそうな様子が見える
- 今日は何をして楽しかった、など毎日話してくれる
- 元気に登校しているから
- 学校の話をするから
- 学校に行くとみんな挨拶などしてくれる
- 遅刻する子、不登校の子をあまり見かけないから。
- 子供が、学校がとっても楽しいと言っている。
- 公開授業で、元気な姿が見られる。校門前で挨拶で生き生きとした姿を拝見している
- 毎日嫌がらずに登校している
- 学校に友達がいるから楽しく過ごしている
- 学校に行く事が楽しみだから
- 楽しく学校に行っているから
- 学校を訪れた時には生徒さんの明るい表情をみられるから

- 勉強が大好きというタイプではないが、楽しく通っている
- そう思います。他学年の教室を見た時は少し生き生き感は少なく感じました。
- 登下校も元気で微笑ましいです。
- みんなのびのびと積極的に行事に参加している
- 雰囲気がとても良いと思います。
- 学校が好き、お友達や先生が好き
- 我が子を見ていると楽しそう
- 楽しそうに学校に行っていると思います
- 他のお家は分からないけど、うちの子供達は毎日楽しく通っていて、とても感謝しています。
- 登下校も楽しそうな児童が多いようです
- 毎日元気に学校に行っている
- マスク着用により、お友達や先生の顔が見えない状況が続いていることがとても心配です。

▲学校に伺う機会が少ないのでわかりません

▲学校つまらない。いきたくない。とっているから

←学校はできないことをできるようにする場です。苦勞することもあり、ストレスもかかることもあります。そこを自分自身や友達と共に乗り越えていくことに価値ある学びがあります。学校は、全力でサポートをしていきます。必ず学校にご相談ください。原因を探りながら家庭と連携を図っていきます。

▲ある特定の児童に対して、守られるべき児童たちがたった一人の児童のために我慢を強いられる状況が、果たして児童たちのためになるのか。問題がある児童一人に問題を起こさないために行っている教職員の行動は児童からは『えこひいき、差別』と捉えられている事に気づいていらっしゃるのか。また、我慢を強いられる児童の心情を軽くみているのではないかと感じます。『大人はずるい』と子どもは言っていました

←そう見えていることは残念なことです。学校ではそれぞれの児童の課題に寄り添いながら目標をもって指導をしています。すべての児童がよりよく成長できるように必要な手立てを今後もしていきます。気になることは、学校にご連絡ください。いっしょに考えていきましょう。

▲学校に行きたくないと言っているながら、キチンと学校に遅れずに行っているから

←すばらしいですね。ご家庭が支えになっているから、登校するパワーが出ていると思います。誰しものが、行きたくないと思うことはあるものです。これからもよろしくお願ひします。

▲少々窮屈そうに見える。

←何にそう思われるかはわかりませんが、何か困っていることがあるのかもしれません。

学校は、集団生活をしているため、家庭よりは窮屈なことも、思い通りにならないこともあります。でもそこから学べることも楽しいこともたくさんあります。お子さんのお話を聞いてあげて励ましたり、学校に相談したりしてください。

3の項目：児童は、よくあいさつし学校のきまりを守っている。

○挨拶すると、挨拶をしてくれる

○学校で知らない子にもあいさつされることがあるから

○よく挨拶してくれるから

○元気に挨拶を返してくれるから

○学校に行くとみんな挨拶などしてくれる

○学校の決まりをよく守っている。

○外で会うと挨拶してくれる

○子供から挨拶してくれる

○学校のことは細かくは分からないが頑張っていると思う

○学校へ行くと挨拶される。

○学校での決まりについてよく話にでできます。

○相変わらず廊下は走っている。元気でいいかとも思う。

←廊下の事故で多くの児童が怪我をしていることをご理解ください。走っている子と接触すると大怪我をします。安全な学校を六日小は目指しています。

○決まりが守れないことがある

○学校のきまりを守っているかは分かりません。

○朝、校門の前で挨拶しているのが、とてもステキだなと思います。

○細かいところは分からないが、心配な姿が無い

○そもそもきまりが多すぎると思う。六日しぐさの中身がどんどん増えているように思います。子供達のがびのびできるのがこの地区のいいところのように思います。

○元気に挨拶をしている。

○学校の前で元気に挨拶している

○用事があり学校にお伺いした際、知らない生徒から挨拶をしてもらえる。

▲学校に伺う機会が少ないのでよくわかりません

▲学校に行く機会があまりないのでわからない

▲「おはよう」や「ありがとう」など基本的な挨拶習慣が身についていない。

▲子供たちに目があっても、あいさつもできない親も子も

▲学校以外では、同じマンションの人にさえ挨拶しない子が多い

▲親から挨拶しても、返す子はほとんどいない。

←学校では、ほとんどの児童がしっかり挨拶をしています。家庭や地域また、校外学習などでは、まだ十分ではないようです。もし、児童から挨拶がなくても大人から挨拶するようにご協力いただくと挨拶ができるようになります。お手本をみせてみんなで子供たちを育てていきたいと考えます。

▲三名人が自己申告のため 実態とは異なる

←三名人の「靴ぞろえ名人」については、校長の日常の靴箱のチェックで判定しています。それ以外はチャレンジカードによる自己評価と最終の学級での承認を経て決定されています。大事にしていることは、「あいさつ」「廊下歩き」「くつぞろえ」は当たり前だけど大事なことを認識する機会とすることです。ご家庭でも3つが継続してできることは価値あることであることをご指導していただけるとうれしいです。

4の項目：教職員は、児童生徒の良さや努力しているところを見つけ、伸ばすように努めている。

- 個々にあった対応をしていただけていると思うので
- 今まで習ったどの先生もととてもよかった
- 個人面談の際に先生からのお話を聞いて感じました。
- 先生方にお会いすると、子どもの良いところを話して褒めてくださるから。
- 一人一人に向き合った対応をしてくれている。
- できない部分より、出来ている事を伝え伸ばしてくれていると感じる。
- 面談の時にそう感じました
- 個人面談や他の時も困った時などで担任の先生が良く対応してくださっていると思います。
- 係活動や委員会での関わり方
- 子供の良いところを褒めてくれている。
- 褒めるよう関わりをしてくれていると思う
- 個人面談で聞きました。
- 宿題やプリントにコメントを書いてくれるところですか。
- 学年があがるとあまり感じられないかも。
- 3名人を達成すると賞状などがもらえる・個人面談で良い所も教えてもらえた
- 担任の先生はよく見てくださっており、頑張ったことへ声をかけてくださっていると感じます。

- 個々への配慮がとても細かくて感謝しています
- 電話や保護者面談で、親が知らなかった子供の良さが聞けて、とても嬉しかったです。
- 子どもの個性を見て理解して一人一人に合わせて対応してくれている
- よく見てくれていると思います
- 本当に先生方には良くしていただいていると思います。
- 子供から、話をきくと誉めてくれたエピソードが出る。
- 面談で先生から子どもへの声かけを確認しました。
- 漢字の宿題のやり方などが合うのか漢字を覚えられるようになった気がします。
- ▲良いところを認めてくださっていますが、課題点を改善することに重きを置いているように感じます。
- ▲表に出ない為わからない
- ←本校の重点的な取り組みの一つに「褒める指導の重視」があります。学校生活の中で児童は、様々な活動を行います。その中でできていないことを注意するよりもできていることを見逃さず褒めることは、できていない子供たちに何をどうすればよいかを教えることにもなります。褒めることは教員として指導技術と考えています。
- ▲くだらない規則ばかりで、現代にあってない
- ←学校では、きまりが何のためにあるか理解させる指導もしています。きまりは集団生活の中で他者と安全安心な生活をするために絶対守らなければならないものであると指導します。また、マナーは、相手への気遣いにより行うことでより気持ちよい行為です。ぜひ学校・家庭・地域ではぐくんでいきましょう。
- ▲子供から聞いた話ですが、ダメ出しされて「これは悪口ではありません事実ですから。」と言われていた
- ←詳細がわからないので難しいですが、事実をお伝えすることは、大切にしています。共有したうえでできることをいっしょに考えていきたいと思います。

5の項目：児童の健康や安全に配慮がされ、安心して登校させることができる。

- 健康観察カードの確認
- 学校の周りに変なものがない
- 安心している。
- 少人数ということもあり、目が行き届いていると感じる
- 手作り給食の栄養面や見守りなども充実している
- 何も心配な点はありません。
- 良くわかりませんが、うちの子供達は毎日安全に過ごせて居るので。
- 検温
- 養護の先生が信頼できるので

- 感染症対策など配慮してもらっているし、怪我してしまったときなども丁寧に連絡があるから。
- 怪我したときにキチンと対応してくれている。
- シルバーの方たちに守られている
- 見守りパトロールさんがいてくれるのは安心です。
- 健康観察の継続がされているから
- 学校や警察の方がしっかり見ていてくれるため。
- 子どもたちが楽しく通えるようにご配慮いただき、ありがとうございます。コロナ騒動も3年目を迎え、感染経路は飛沫ではなく、エアロゾル(空気)感染であることが判明しており、マスクには予防効果がないことは明らかになっています。むしろマスクをつける事による健康的、精神的、知的な害について警鐘が鳴らされており、健康な子どもたちがマスクをつける必要があるのか疑問でしかありません。黙食解除やマスクの自由化についても実施している学校や地域も増えてきています。御多用かとは思いますが、マスクの着用の自由化を科学的な説明とともに発信していただけたら、ありがたいです。誤った感染症対策が将来にわたって、子どもたちに悪影響を与えないことを切に願います。
- ケガしたら、保健室へ行くように徹底してほしい。
- ▲コロナ禍にも関わらずセキュリティが甘いと思う。
- ▲普通に部外者や、入ってはいけない時間に保護者が簡単に、侵入できる。
- ←コロナ感染防止策を図りながら教育活動を工夫して進めてきた。不安なことはご相談ください。基本荒川区では安全ステーションでのチェックがあります。安全ステーションの方が席を外すときはカギがしています。
- ▲親が学校生活の中の事をすべて見られるわけではないので。
- ▲乱暴な子がいるので日々不安です。
- ←どの児童も長所があり苦手なことがあります。学校が集団で学習するのは、お互いに学び合うことができる場で様々な体験を通して成長するためです。学校は人格の完成を目指すところでもあります。しかし、気になることは、顔を合わせて解決していきたいと思います。

6の項目：楽しく分かりやすい授業が行われている。

- 楽しい内容は子供が良く話をしてくれるから
- 子どもの話を聞く限りはとてもよいと思う
- 二分の一成人式で発表する内容に選択肢があると良いと感じる。例えば「将来なりたい

職業」の場合、なりたい職業がないと発表しにくいから。

- 子どもが楽しいと言っているから。
- よく工夫されていると感じることが多い。
- 算数の計算で、さくらんぼ方式の必要性がよくわからない。(子供の意見ではありません)先生よって授業の細かさに差がある
- 家で子供がそのように話しています
- わかりやすい授業のため。
- 子供が分かりやすい言葉使い、丁寧な対応をしてくれていると思います。
- テストで成果が出ているから
- 授業の内容を家で報告できる
- 子供から、分かりづらいと言われたことがない
- 本人が楽しいと言っていた(元々勉強好きではないので)
- 上手に教えてくださっていると思います。双方向性は少ないと思います。できあがったカリキュラムの中に子どもたちがいる印象です。
- 公開授業など、先生方がとても工夫されているなど感じます。
- 特に算数が楽しいと言っています
- 授業を子供が楽しんでいるようです。
- 授業参観で確認しました

▲つまらないらしい

▲授業中の内容は分かりません

←学校公開も徐々に増えてきていますので可能な時にぜひお越しいただけるとありがたいです。

▲ヤジを飛ばす生徒がいて他の子が授業に集中できない(公開授業時にもそうでした)

▲上の子は勉強嫌いになってしまいましたが、下の子は意欲的に取り組んで居るので、真ん中を取りました。

←学校では、子供たちが「わかる」授業を目指して日々授業改善をしながら指導しています。また、学習の定着を図るためには、ご家庭のご協力が不可欠です。学校だけでは理解できたことを身に付けることは困難です。荒川区は学力状況調査の結果、家庭学習の時間に課題があることもあるので本校では自主学習にも力を入れているところです。

7の項目：習熟度別学習など、児童一人一人の理解度に応じた学習指導が行われている。

- 子どもを見ているとそう思う
- 算数で習熟度別に授業を受けているから。
- 算数は別れて授業しているから

- 丁寧に修正が加えられているところです
- 一人ひとりを見てくださっていると感じますが、これからますます理解度の差が出てきたときにできない側もできる側も満足の内容であるかは分からないなと思います。
- 算数なども分かれて授業してくれるのはありがたいです
- 寺子屋でお世話になっている。
- ▲算数が簡単過ぎて楽しくないと言っています。より実力に合わせて内容で勉強できる環境があると助かります。
- ▲授業中に退屈していることがあると聞くので。
- ▲クラスが23人いるのに、一人ひとりに応じることは不可能だと思っている。そこまで求めていない。そこを求めるなら、塾に通わせることを検討する。
- ▲どんな内容、対応をしてくれているのか知りたい
- ▲算数一教科なので判断できない。けど小学校でそれ以外習熟度別が必要と思っている訳ではありません。
- ▲学校では「一人一人に合った」は難しいと思うから
- ▲学校内のことは主に何をしているのか子どもからあまり話をきけていない
- ▲具体的な内容は、子供からも聞かないので分かりません。
- ▲上の子の学力が担任の先生によって毎年変わるため。
- ←個人差があることは実態としてあります。だからこそ学習のゴール同じであるが、到達するまでの過程を工夫することで理解ができるように3年生以上は習熟度別指導を行っています。
- ←習熟度クラスでは、早く課題を解決できた場合、教え合いや発展的課題に取り組むこともあります。
- ←学校として児童にわかりやすい授業であることは大事なことです。学習における楽しいとは「わからないことがわかること」「できないことができるようになること」であるので、学びの楽しさがわかるような指導をこれからもしていきます。

8の項目：放課後の補充学習などを行ったり、宿題を提示したりするなど、学習習慣の定着を図る工夫をしている。

- 子どもを見ているとそう思う
- 宿題が毎日あるし、間違えたところなどは丸になるまできちんとみていただいているから。
- 高学年になると受験で塾通いする子もいるので、宿題をやるやらないは選択でよいと思う
- よく補充学習に行っているようなので。

- 入学時は宿題が多いと感じたが、今は慣れ学習習慣が身についたと感じる。
- 家で宿題に自分から取り組んでいるから
- 放課後寺子屋以外でも補習してくれている
- わざわざ残ってもよいですか？と先生から連絡をくれるし、ウチはのんびり屋なので放課後や朝から学校を開けてもらって助かります。
- 宿題は必ずあるから
- 寺子屋が活用できる。
- 欠席したときは授業の後で残って課題をするよう指導してくださっていました
- 寺子屋に誰でも参加できる
- 寺子屋を毎日行けると、学習習慣がさらにつくのではないかと思います。
- 寺小屋は助かります
- 寺子屋にお世話になっている。

▲課題がほとんど終わってしまい、家庭での学習は家庭でまかなっている状況である。

▲上の子が勉強嫌いになってしまったのは宿題が原因だと思う。毎日出るなら二段階にしてほしいです。できる子は満量。できない子は半量。などや、今の半量をマストにして、できる子は足す等、どうにかならないかと思っています。個別で担任の先生に相談して、やらなくて良いと言って下さっても、本人はできなかつたが積み重なっていき、どんどん悪循環でした。4年生から居残りで見えていただいてから学力が本当に伸びて感謝しています。先生はやはりプロだと実感致しました。恥ずかしい事ですが、家庭では勉強を教える力がありません。

←学習には個人差があります。同じ課題でもかかる時間はそれぞれ異なるので量というよりは、内容によります。学校で指導したことはその日のうちに復習するのが最も定着するので宿題はそのために必要です。工夫できることはあるかもしれませんが。ご相談ください。

←補充学習は、寺子屋事業で放課後行っているものや各学級で必要な児童に休み時間や放課後に実施しているものがあります。各学級等での補充学習は、毎日とは限りませんし、全員でやっているわけでもありません。必要なときに必要なだけ実施するのが基本です。また、寺子屋に参加は、学習意欲があることが大切です。今後効果的な活用についてさらに検討していきます。

9の項目：学校ではタブレット PC など、ICT を活用した教育を行っている。

- タブレットを持ち帰って宿題をしている
- 日常的に使用されていると感じるから。

○コロナで長期に休まなければならなかった時、PCを貸し出してくれオンライン授業の対応をしていただいた。

○実際にオンライン授業をしたから

○家でもうまく使いこなしています。

○系の仕事等でパソコンを使っています。

○コロナ禍で自宅待機などの時期にはよく使用していた気がしたが、今は使用しているのかが分かりません。

○タブレットで作った調べる学習を見たから

○まだよくわかりません

○使いこなしているように見受けられる

○1人1台貸してもらえるので助かります

○オンライン授業を見ていて、素晴らしいと思っている。

○授業参観で確認しました。

▲今年度はあまり使用していない

▲わからない

▲もっと日常的に頻度高く学ぶのかなと思っていましたが、そうでもない印象を受けています。ただ、個人的には学校で教えるのは今の程度で充分かと思います。

▲今年度はあまりパソコンについては子供から話を聞かないので、よく分かりません。

▲学習発表会は自分達でパワーポイントを使って発表していて驚いた。ただ、普段の学習は電子黒板以外は良くわかりません。

←ICTの活用については校内では高学年になるほど日常的に活用しています。コロナ禍によってオンラインによるタブレット学習をすることが求められていますが、本校でも準備はできており、休校措置での活用はできます。でもそれ以上に学校で効果的に活用することを大事にしています。

←タブレットパソコンは、学習ツールの一つでしかありません。効果的に活用することが重要です。使用頻度が多いからよいというものではありません。必要に応じた活用を行っています。ノートに文字を書いたり、黒板で指導したりした方がよい学習もあります。これからも学習効果のある活用を工夫していきます。

#### 10の項目：読書と学習に学校図書館を活用している。

○学校で借りた本、読んだ本のお話をお家でもよくしています。

○子どもから図書館の話をよく聞くから。

○図書月間があり、意識して読書をしている。ただ、全てをじっくり読んでいるわけでは

なさそう。

- よく本を借りてくる
- 子供が借りた本の題名を教えてくれる
- 読書週間があるから
- 読書週間
- 読書を促してくれている
- 図書館の時間があるのがすごいなと思います。
- 図書室で本を借りているようです。
- 図書館でよく本を借りて読んでいます。

▲学校図書より区の図書館の利用が多い

▲あまり読書をしてないみたいです

▲うちに限ったことですが、子供達からは何も感じられない。昨年放送委員でしたが、自分の好きな本を朗読とか、子供達が楽しめる活用の仕方がある気がします。

←まずは、自ら読書を楽しめるようになってもらいたいと思います。次に本の楽しさを発信できるように成長できるようにしたいと考えています。

←学校では日常的な読書を推奨しています。そのためちょっとした時間でも読書できるように常に読む本をすぐ出せるようにしておき「隙間読書」をしています。

←ご家庭で読書タイムを設けるのも効果があります。お試しください。

11 の項目：自他を大切にし、偏見や差別を許さない、豊かな人権感覚を育てる教育が行われている。

- 学級目標等にもあるから。
- 嫌な事をされた時は報告してくれるが、友達の悪口を言っている姿をまだみない。
- クラスで上手くやっついそうなので
- 困っている子を気にしたり、声をかけてくれたりしている児童の姿をよく見る
- 子供に差別をすると良くないと言われたから
- 具体的な活動は分かりませんが、生徒さん達から偏見や差別を感じることはありません。
- 子どもが偏見を持っていないので、学校では偏見が無いと思っている
- 偏見や差別はいけないと思っているみたいです
- 差別や偏見という概念が無い子供達を尊敬しています。
- いじめや喧嘩などは発生していないようです。
- 色々な特性を持った子がいる中で、仲良く過ごせるように対応していただいていると思います。
- ▲豊かな人格どころか、笑うことさえ、注意され、マスクも今でも強要され、子供たちが

窮屈そうで、可哀想

←人権感覚を磨くことは、他者への思いやりを育むことです。広い視野で活動を捉えていきたいと思います。家庭の協力がとても必要なことです。

▲わかりません。

←豊かな心をはぐくむ指導は、全教育活動を通して行われています。大事なのは、児童を取り巻く人や環境がお手本となったり、できていることを認めほめたりしていく事で育まれていきます。これは、家庭や地域の協力が必要なことです。

12 の項目：生命を大切にすゝる気持ちや他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てるなど、道徳性をはぐくむ教育が行われている。

○指導している様子から感じられるから。

○仲間外れをしないなど、他人を大切にすゝる気持ちが持てていると思う。反面、YouTubeでは捕食の動画をよく観ていて、生命を大切に考アているのか不安になる。

○道徳の授業を見た時子供たちの意見を聞いて思いました

○道徳の授業が行われているから

○道徳の授業など

○悪いことはしっかり注意してくれている印象

○昨年、古い桜の木を切った際に、命の大切さを子供が感じていたように思っています。

○まだ善悪の判断があやしい時もありますが、だいたいわかっていると思います

○我が家の子供達はとても育っていると思います。

○道徳の授業があるようです。

▲子供に納得できる説明ができてないし、時間を割くことさえできない。と言われたから

▲学校での不道徳な行いについて注意するどころか、親同士で解決するようにとの方針にがっかりさせられた。

←児童への指導は当然ですが、問題が多岐にわたる場合は保護者間での話し合いも必要になることもあります。

←まだまだ未熟な児童は、大人の当たり前が理解できなかつたり、相手の思いまで考アることができなかつたりします。そこで、道徳や様々な教育活動を通して学んでいけるように指導しています。多面的に状況を捉え、様々な思いや考ア方に気付くことがとても重要なのです。「こうすべきだ」とか「こうしなさい」と考アを押しつけて道徳性は育ちません。

←道徳的な実践力は、家庭や学校生活の中で自分自身が判断し行動していきます。そのためそこでは、保護者や教職員の協力が必要です。

13 の項目：いじめや不登校を防止するなどの教育相談活動に力を入れ、児童一人一人の居場所がある学校づくりに努めている。

- カウンセラー巡回日等があるから。
- いじめは無くならないと思っている。なので、早く気づいてあげられる環境を作っていてほしい。辛いと感じている子は無理に登校させるべきではないと考えている。
- 学校カウンセラーがいるから
- スクールカウンターの案内がよく来る
- 息子が学校に行きづらくなったとき、副校長先生と担任の先生が本当に親身になってくださいました。
- 人数が少ないのでよく見てもらっていると思います
- カウンセラーがいるのはありがたいです。
- 自分の子供が、友達と言ひ合いや仲互いをしてしまった時、相談するとすぐ解決する為に動いてくれる
- ▲不登校児童に対しての対応が見えない
- ▲学校来ない子もいるし、とにかく、周りの世間体ばかり気にして教育しているとおもう
- ▲不登校が2人いる
- ▲目に見えていないから
- ←どんなケースでも学校は解決に向けて対応しています。そのため学校では組織的により様々な場面での児童の様子を把握できるように情報交換をしています。家庭での様子も伺いながら検討しています。
- ▲いじめや不登校の例を聞いたことがない。実際あったらどうか分からない
- ▲100%は無理だと思うし、いじめをする人間は普通では無いから。
- ←六日小いじめ防止基本方針のもと年間を通して未然防止を図り、早期発見、早期対応を基本として計画的に指導に取り組んでいる

14 の項目：児童は、運動会や学習発表会、宿泊行事など学校行事に楽しく参加している。

- 観に来て欲しいと言ってくれるので楽しいのだと思います。
- 子どもたちを見る限りはそう思う
- 運動会は生徒たちが毎年楽しそうで微笑ましいです。来年度以降は音楽会や学芸会を復活させてほしい。
- 行事の前にはどこを見て欲しいか、終わったらすごく楽しかった！と言っているし、表情からも楽しい！って気持ちが伝わってきます。
- 楽しみにしている様子があるから。

- 直近であった展覧会は、満足度、達成感が高かったようで家でもよく話題に出ている。
- 朝早く行ったり前向きに取り組んだりしています
- 楽しく参加している
- 学校行事は、本人が練習の時から張り切ってやっているし、当日を楽しみにしている。
- 頑張っている姿を見ているから
- とても楽しみに参加しています
- 学校での練習や準備を楽しそうに話してくれます
- いろいろ準備してくれている
- 楽しそうな印象を受けます。練習量も多い印象です。
- とても楽しそうでした。
- 勉強や運動の成果を発揮する場があると励みになる
- 行事をたくさんやってくださるので嬉しいです
- 上の子が参加する事ができなかった時に、どこまでならできるか工夫して下さったので。下の子はとても楽しそうに参加しているので。
- 運動会、展覧会、意欲的に参加しています。
- ▲我が子が苦手なだけ

**15 の項目：児童は、委員会活動や係、当番活動などに積極的に取り組んでいる。**

- 初めての委員会に積極的に立候補して取り組んでいる様子を聞きます。
- 嫌がる様子がないから。
- 体育館係？していて、ドッジボールの進行をやったと話してくれた。
- 面談の時のお話しから
- 子供たちからのアイデアあふれる係活動がとっても良いと思います。
- 家でも係や委員会の話をしています
- 周りがやってない分やらなければならない様子
- 家に持ち帰り取り組んでいるから
- かかり活動など力をいれて参加しているようです
- 我が子もよく係活動の話しをしています。熱心に取り組んでいるなど感じています。
- 本人はやっている(つもり?)みたいです
- 頑張っているようです。
- 委員会や係を楽しんでいるようで、その話をよく聞きます。
- ▲わかりません

←日常の活動である当番活動がまずできることが大事です。日直、給食当番、掃除当番がこれに当たります。そこにクラスをパワーアップするためになにができるかを考える係

活動が加わりしっかりと力を蓄えて、学校全体のことを考えて活動する委員会活動ができるようになります。土台となるのはみんなのことを考えながらよりよいか解決のために話し合うことができ、さいごまで責任をもってやり遂げる力です。6年間かけて身に付けさせるために日々指導しています。ご家庭でもよろしく願います。

▲昨年の放送委員は本当に辛そうだった。クラブはともかく、委員会は第一希望では無い子も居るので、一年間は長いと思う。

←特に委員会活動は、高学年にならないとさせてもらえない活動です。学校生活をよりよくするためにできることを分担して行う活動であるためです。活動内容も全学年のことを考えて自分たちができることを工夫してみんなが笑顔になるように取り組む活動です。低学年からの当番活動や係活動の取組経験が活動への意欲を育んでいます。非常に価値ある活動であるので学校では重要視しています。家庭で家族の一員としての役割であるお手伝いがあるように当たり前のようにやりがいとプライドをもちながら委員会活動できるように指導していきます。

16 の項目：学校便りや学年便り、学校ホームページなどで、学校の教育活動の様子がわかる。

○スクリレで毎週送られてくるのが楽しみ

○学年便りに写真を載せてくださっているので、授業の様子がよくわかります。

○必要なことを記載してくれているから。

○毎週の配信と、毎月の授業参観で様子がよくわかると感じる。

○授業風景の写真から

○スクリレの毎週のもものが写真でありよくわかる

○スクリレの本日の給食はいらなないです

←今日の給食を配信しているのは、「食育」と「日本の伝統文化」を同時に発信するために行っています。ぜひご家庭の話題にさせていただきたいところです。今後もできる限り継続していきます。

○スクリレで良く見られるから

○写真での子供たちの様子が見られること。

○スクリレ導入後は活動内容がよくわかるようになった。

○スクリレでいつも拝読しています。

○学年便りは紙で配ってほしかったなと思う

○とてもわかりやすく、毎回楽しみにしております。

○スクリレで、提出書類についても載せて欲しい

○スクリレアプリは助かります

○いつも楽しみにしています。

○いつも楽しみにしています。

○お手紙が配信され、楽しみにしています。

▲アプリかなりつかいづらい

▲スクリレの文字が見にくくて見てない

▲もう少し写真などが多いとうれしい

←ご意見ありがとうございます。学校としては、スクリレのよさを生かして学校の様子や情報を迅速かつ確実にお届けするために導入しました。工夫して内容は作成しているつもりですが、ご意見要望はいつでもお待ちしておりますので積極的にご連絡ください。ただしできることとできないことがあるのでご了承ください。

▲時々分かりにくい説明や間違えた情報が掲載されています。別紙参照などを書いてあるが、その別紙がなく、いつ配布されるのかも明記されていない。公開授業の時間帯にご記入などがあった。

←誤記があったことにつきましては気を付けていきたいと思います。別紙等については事前配布されているものだったと思います。

17の項目：学校は、児童生徒や保護者が相談しやすく、連絡や相談したことに対して適切に対応してくれる。

○我が家に限っては適切に対応してもらったと思うがそうでないはなしも時折聞くので

○子どもからの依頼にもすぐに対応してくれたから。

○欠席や早退の連絡など、不明点も丁寧に説明していただいたし、担任からの折り返しもあり、相談しやすいと感じる。

○すぐ返答してくれる

○連絡帳でも相談できるから

○連絡ノートや電話で返答いただける

○相談にのっていただいている

○子供が体調不良後になかなか学校に行けなかったとき、こちらの要望をよく聞いてくださったうえで、適切に対処いただきました。

○担任の先生の言葉で安心しました

○人数が少ないので、手厚く対応してもらっています

○本当に助かっています。ありがとうございます。

○気になることは連絡帳に書いています。

▲力でおさえつけているし、とにかく評価表が、他校より厳しく、全く子供にとってよくない。みんな普通にすることがいいことか。

←評価表が他校より厳しいと思われることと子供にとってよいかどうかは別に考えることだと思います。普通という評価はなく達成してほしい目標を達成したことを示しています。

▲その日の出来事についての報告はありますが、状況の把握が十分でないと感じたり、解決ができていないまま帰ってきたりすることがある。

←解決のために最善をつくしていますが、十分に聞き取りをする時間がないこともあり、翌日に対応することもあります。しかし、お子さんが把握した範囲で保護者に一報することは大事なことで考えております。

▲電話が早い時間で繋がらなくなるため、相談できる環境ではない。

←まずは、どんな方法でもよいのでご一報をいただき、時間をとって話し合いをしていきたいと考えています。よろしくお願いします。

18 の項目：学校公開週間や土曜授業日、学校行事などは、保護者が参加しやすい設定である。

○コロナ禍でも配慮ある参加ができるから。

○事前にお知らせがあるから。

○入学して半年経過したが、学校行事に参加しにくいと感じたことは無い。

○仕事をしていると保護者会、面談の時間対が調整し難い。

○参加しやすいが、土曜授業が多すぎる

○保護者会や個人面談が平日で困る

○コロナによる時間の区切りがもっと早く分かると助かります。次は何時間目なんだろうなど予想はしているものの手紙がくるまでは予定が組めず。

○人が密集しないような工夫があり、とても参加しやすかったです。

○土曜日は助かります

○コロナで大変な中、ありがとうございます。

○母は休日休みなので比較的参加しやすいです。

○コロナ禍ですが、時間を決めて入れ替え制にして観覧できるように配慮してもらっているので安心して参加できます。

▲親同士会いたくない方もいるなかで、順番通りだったり、参加しづらかったりした

←事前に担任の相談することもできます。

▲出席番号が近くなってしまうと同じ時間に見なければいけないので困る人がいるかも知れないと感じます。困っている方がいなければ問題は無いです。

←今回実施では大きな混乱はなかったようです。

▲月一の公開授業が多いように感じる。

←子供たちの様子を見ていただいたり、学校の様子を見ていただく機会をできるだけ設けていくことが荒川区の方針であると思います。また、土曜日に設定することで行事等を設定することで来校しやすいようにできるメリットもあります。

19 の項目：学校は、地域の行事に協力的である。

- 商人塾の再開はありがたかったです
- ラジオ体操など、地域に根付いているのだなと感じる。
- 商店街と協力しているから
- コロナで難しい点もあったと思う
- ラジオ体操など助かりました
- 地域の行事が開催されるようになることを願っています。

▲コロナ禍であまり交流がないから

▲コロナになってからない

▲わかりません

▲コロナ禍ということもあり、よく分かりません。

▲コロナなのでまだよくわかりません

←できることが多くなってきました。学校は、学校だけで教育活動が完結するものではなく、児童を取り巻く学校・家庭・地域が、役割を果たす中で豊かな人間性を育ていくものであると考えています。そのためできる限り協力していきたいと考えています。

20 の項目：学校は、保護者や地域から寄せられた意見や要望に応えようとしている。

- 子供が体調不良後になかなか学校に行けなかったとき、こちらの要望をよく聞いてくださったうえで、適切に対処いただきました。
  - 色々な保護者がいるなかで、よく対応してくださってありがたいです
  - よく話し合っていると思う
  - ▲意見や要望があるのか不明。
  - ▲一つもきいてくれてない
  - ▲わかりません
  - ▲学校にどういう意見が寄せられているか把握していません。
- ←ご意見、要望はいつでもお待ちしております。すべての児童がよりよく成長できるよう校内で検討して教育活動に反映するようにしています。情報をお寄せいただくことがな

より大事だと思えます。最も怖いのはうわさに左右されてしまうことです。必ず学校に確認をお願いします。

21 の項目：学校は、「六日しぐさ」「3 名人の取組」を活用して、児童の生活習慣や学習規律の確立・定着に努めている。

- 3 名人の効果は家でも見られる
- 家でも靴を揃えている
- お便りでもよく出てくる
- 授業で、六日しぐさを活用してほしい
- 継続的に取り組んでくれている
- 名人認定されたときはとても誇らしそうでした。大きなきっかけになっていると思います。
- 校長先生を中心に、とても熱心に取り組まれていると思います。
- 明確な規律があり、目指す姿がわかりやすい
- とてもわかりやすいです
- 家で靴を揃えるようにしている。

▲「靴揃え名人」をいただいたが、家では全く出来ていない。

▲自分の子が出来ていないから

▲本人があまり出来ていない。身につけていない

←校内ではとてもよくできています。家庭や地域では十分ではないようです。ぜひ家庭地域でも学校と同様のご指導をお願いします。できているところを見かけたら必ず褒めることもお願いします。六日小の子をみんなで見守り、育てて」ください。

▲六日しぐさが上手く活用できていない気がします。

▲六日仕草の内容を子供は把握してない。

←ご家庭に配布されている「六日しぐさ」を確認する習慣があるといいですね。ホームページにも掲載されています。

▲上の子は表彰や名前の張り出しが嫌で3 名人には取り組みたくないそうです。特に評価のないピンピタグーが好きなようです。

←取り組んでいない子はひとりもいません。生活習慣の1 つなので本校に限らずどこの学校でも同様の指導はあります。先生も児童も保護者も地域の方々にも分かりやすく明確にするために本校では「3 名人」のチャレンジをしています。高学年になるにしたがって当たり前に行えることだからという判断でチャレンジカードにチャレンジできない子はいるようです。それはできていないわけではありません。

三名人の「靴ぞろえ名人」については、校長の日常の靴箱のチェックで判定しています。それ以外はチャレンジカードによる自己評価と最終の学級での承認を経て決定されています。大事にしていることは、「あいさつ」「廊下歩き」「くつぞろえ」は当たり前だけど大事なことを認識する機会とすることです。そして継続することで培われる力があることをご理解いただきたいです。ご家庭でも3つが継続してできることは価値あることであることをご指導ください。

22 の項目： 学校は、英語活動の充実に努め、国際理解教育を推進している。

- 英語の授業は楽しいようで、授業で何を習ったなど細かく報告してくれる。
- 英語の授業をもっと増やしてほしい
- 英会話の授業でゲームをやりながら楽しく授業がされている
- 楽しく学んでいるようです。
- 国際理解教育については、ほとんど子供から話が出ないので、どのような取り組みを行っているのか分からないのが現状です。
- 英語の授業は楽しいと子どもは言っています
- 英会話の体験に行った時、普通に英会話を理解していたので。
- 一年生から授業に組み込まれています。
- ▲もっと推進して力を入れてほしい
- ▲他校に比べ少しゆるい気がする。
- ←本校の英語アドバイザーは、子供たちの取組を高く評価してくださっています。小学校の英語も必要ですが、他にも身に付けるべきこともあるのでバランスよく進めていくことが重要であると考えています。

23 の項目：学校は、漢字検定・算数検定の取組や放課後学習の推進を通して、学力向上に努めている。

- 漢字検定は毎年受験だから
- 検定に取り組むことで、全国、区内の他の学校とも比較出来て良いと感じる。
- 検定があると頑張る励みになっているようだ
- 漢字検定は公費で受けられるので負担なく子どもに勉強させられる
- 家での学習を増やさないといけなくなるので負担が大きい。
- 漢字検定は、全校生徒で行われるから
- 漢字の宿題が、全く足りない。
- 寺子屋を毎日行けると、より学習習慣などがつくと思います。

- 過去問を置いてくださり、ありがとうございます
  - 機会があるのが有難いですが、試験前は宿題を減らして欲しい。
  - 問題集もくれてありがとうございます。
- ←漢検や数研への取り組みは、目標を明確にもたせて意欲的に学習に取り組むことができることも一つのねらいですが、日常の学習の積み重ねが重要であることに気付いてほしいと願っています。

24の項目： 学校は「オリ・パラ教育」「持久走」「なわとび」「ラジオ体操」等の取組を推進し、児童の健康・体力の向上に努めている。

- 体力測定も、区内の他の学校に比べて良い成績だったと感じた。
  - オリンピック選手の授業があったから
  - runrun 旬間とのことですが、できる限りで年間通してやったらいいと思います。
  - 外部の講師の先生にも来ていただいて、すごいと思います
  - 校庭で自分のペースで走っていたようです。
- ▲コロナのためない
- ←学校経営方針では、心身共に健康で心地よい生活リズムをつくることのできる子を目指しています。すすんで体を鍛える子や外で友達と元気に遊べる子が具体的な姿です。また、健康管理が自分でできるようにすることも重視しています。

25の項目：学校は、書道・陸上等の外部講師を招いて専門家による学習を充実させている。

- 外部講師を招くことで、子供たちの世界が広がることを期待している。
  - 書道の先生の授業があるから
  - 最近では雅楽の説明を一生懸命してくれました。直接的に知る、感じる、経験できるよい機会だと思います。
  - 1年生の頃から書道家の方に教えていただき、驚きました。子供も喜んでいました。
  - 書道の先生にもよく見てもらい楽しそうでした
  - 子どもからも話を聞いています。
- ▲ごめんなさい、来ているかわかりませんでした。
- ←専門性を生かした外部指導員によって普段以上のモチベーションと心地よい緊張感で学習できることはとても価値ある経験となっている。講師の先生も継続してご指導いただいているので児童のことをよく理解してくださっている。